

☆...話題を追う...☆

教育・夜7・30

日本映画はいま.....

芥川賞作家の自作監督作品大

は評論家の佐藤忠男氏。

資金の外国映画など、映画界はいま華やかな話題がめじら押しである。しかし映画人をとりまく状況は、少しも好転しない。

現在、年間制作本数の三分の二はボルノ、あるいはピンク映画で占められるという現代の映画産業。見られる映画と、作りたい映画の間に、多くの監督たちが苦悩している。

ボルノの中で作りつづける神代辰巳氏、一方多くの映画監督をあきらめたという「水俣」の土本典昭氏、さらに昨年のベストワンの「ひ青」、「サード」を友人から贈んでくれた東陽氏。

番組は、こうした第3線の監督へのフィルム・インタビューと作家村上龍氏や他企業の辻信太郎氏など、新たに映画づくりを体験した人々の話を通じて、映画界の現状を浮き彫りにする。レポーター

としている。

ボルノの中でも作りつづける神代辰巳氏、一方多くの映画監督をあきらめたという「水俣」の土本典昭氏、さらに昨年のベストワンの「ひ青」、「サード」を友人から贈んでくれた東陽氏。

番組は、こうした第3線の監督へのフィルム・インタビューと作家

村上龍氏や他企業の辻信太郎氏など、新たに映画づくりを体験した人々の話を通じて、映画界の現

状を浮き彫りにする。レポーター



『死にたがる子』の右から春田和秀、伊丹十三、宮本信子

土曜ドラマ

「死にたがる子」ら3本

作家のロマンの世界をもっとも具体的に表現した傑作を選んでおりよう。原作者の深い人間観をもとに、現代人の深層心理をススペクツ仕事で追い、人間愛を問う形になっている。

「死にたがる子」は、自殺した少年の胸のうちに何があったのかを

年齢世子ほか。

「死にたがる子」は、自殺した少年の胸のうちに何があったのかを

歴史・宗教からいわき人

東北武士の血をくむ

神社数は県内一の318社

いわき人の氣質を論する前に、日本民族の大まかな気質を考えてみよう。まず南方から州人近畿を中心とする関西人、関東・東北を一帶とする東北人、これらを三分に分けてみよう。

私はかつて軍隊生活10年の経験がある。鉄道隊という特殊部隊に所属していた関係で、隊員の機成も、全国からの入隊者が召められておった。狭い範囲ではあつたが全国の入隊者と一緒に生じた経験を持つ。また大陸に出征中も警備、建設、軍隊輸送などでも全国の兵隊と接觸する機会があつた。私が実感した各地の気質を擇りて比較してみると、

九州人
関東・東北人
関西人

いわき人の氣質は、荒っぽいことは不適、要領よく軽率、言葉は重い。一般に要領よく立ち回れない。命令を守り、従順である。上部の信頼がある。

自然環境に恵まれて解放的

では若干の気質の違いはあると思われる。しかし、自然の影響をうが、明治以来、日清・日露、今次大戦を通じ、最も困難な作戦において、われわれ郷土部隊を含めた「一を雪に埋もれ、暮らす多雪の地の人々と、年中燎(ひるぎ)然と烽(はやし)の交錯するところに、その特色が発生する。

東北出身の部隊が最も強かしく、東北武士の血の流れを今に受けついでいる誰がでなくとも、何を物語っているのでしょうか。

「領に矢を立つとも背には受けじ」と云ふことであるが、何を意味するか、それは時代によって、封建

前は黙々として自然の恩恵に感謝する。わがいわきが地理的には、東北の勢力圏に入るわけですが、多分に南方の西洋文化に影響され、後者は軽快、活動型の素が形成されることが自然である。

易の言葉に、「大山(せん)太澤(だいざわ)」偉人を生ずるあり幸。

太澤(だいざわ)といふことは、太湖(たいこ)川といふことであるが、要は環境が人

自然環境に恵まれて解放的

前者は黙々として自然の恩恵に感謝する。わがいわきが地理的には、東北の勢力圏に入るわけですが、多分に南方の西洋文化に影響され、後者は軽快、活動型の素が形成されることが自然である。

易の言葉に、「大山(せん)太澤(だいざわ)」偉人を生ずるあり幸。

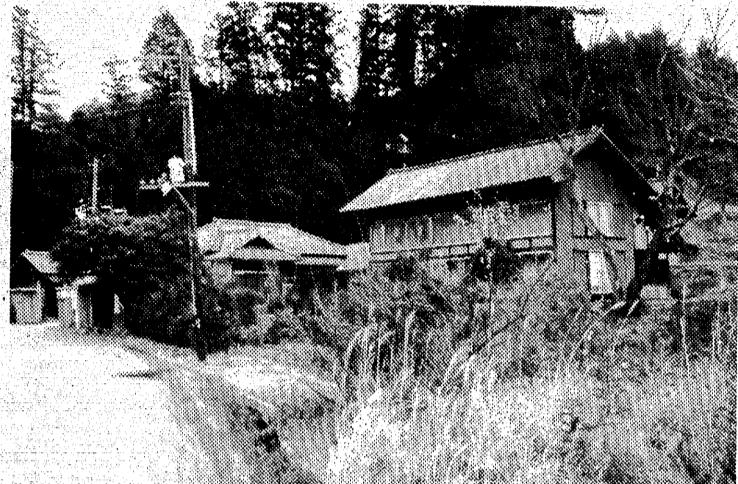
太澤(だいざわ)といふことは、太湖(たいこ)川といふことであるが、要は環境が人

自然環境に恵まれて解放的

前者は黙

いわきの鉱泉

成沢
鉱泉



自然にあふれ

る旧道を登る

今日は切り傷・やけど・打ち身
・毒（よくひ）・かまれ・皮膚
病・骨膜炎など、これらによく効く
といふ成沢鉱泉を訪ねる。幸い同
行者が出来た。

前記通り五十石さんである。
下見分の時も、そして座談会にも
五十石さんは加わってもらつた。
その他の同行だったお

陰で、バスを降りての徒歩二十分
という時間は一向苦にならなかつた。

その他の同行だったお

車中は空席があちこちある。
途中何人が客が降りて乗つて、
車窓からほんと出でて来た。また、
松、杉、雜木と冬山だ。

「はい、成沢入り口です」と重

停留所からぼくらの後ろ

右手へ、舗装された道路が川を翻

て登つていて。左脇へかけたた
グのつりかわを、奥深くかけた。

途中農家が二、三軒あって、家

には人気がなさそうだ。犬だけが
やたらとほえている。

停留所の標識があつて、「紫坑」

とあるのは、ほどなく轟かれて、
思ったが、帰り道で会つたおあ

ちゃんに聞いたら、「むざきこう」

だそうだ。ほほ、オッとなれた

と思ったが、石炭を振り出したと
は新道直行だという。成沢へは、
成沢入り口降りるといふという
ので、成沢入り口下車を予約し

ます。平駅前から十一時二十分
発新潟バス発着行きの客となる。
車掌さんが乗つているから、成
沢に入るか尋ねると、このバス
は新道直行だという。成沢へは、
成沢入り口降りるといふといふ
ので、成沢入り口下車を予約し

た。

その他の同行だったお

車中は空席があちこちある。
途中何人が客が降りて乗つて、
車窓からほんと出でて来た。また、
松、杉、雜木と冬山だ。

「はい、成沢入り口です」と重

停留所からぼくらの後ろ

右手へ、舗装された道路が川を翻

て登つていて。左脇へかけたた
グのつりかわを、奥深くかけた。

途中農家が二、三軒あって、家

には人気がなさそうだ。犬だけが
やたらとほえている。

停留所の標識があつて、「紫坑」

とあるのは、ほどなく轟かれて、
思ったが、帰り道で会つたおあ

ちゃんに聞いたら、「むざきこう」

だそうだ。ほほ、オッとなれた

と思ったが、石炭を振り出したと
は新道直行だという。成沢へは、
成沢入り口降りるといふといふ
ので、成沢入り口下車を予約し

た。

その他の同行だったお

車中は空席があちこちある。
途中何人が客が降りて乗つて、
車窓からほんと出でて来た。また、
松、杉、雜木と冬山だ。

「はい、成沢入り口です」と重

停留所からぼくらの後ろ

右手へ、舗装された道路が川を翻

て登つていて。左脇へかけたた
グのつりかわを、奥深くかけた。

途中農家が二、三軒あって、家

には人気がなさそうだ。犬だけが
やたらとほえている。

停留所の標識があつて、「紫坑」

とあるのは、ほどなく轟かれて、
思ったが、帰り道で会つたおあ

ちゃんに聞いたら、「むざきこう」

だそうだ。ほほ、オッとなれた

と思ったが、石炭を振り出したと
は新道直行だという。成沢へは、
成沢入り口降りるといふといふ
ので、成沢入り口下車を予約し

た。

その他の同行だったお

車中は空席があちこちある。
途中何人が客が降りて乗つて、
車窓からほんと出でて来た。また、
松、杉、雜木と冬山だ。

「はい、成沢入り口です」と重

停留所からぼくらの後ろ

右手へ、舗装された道路が川を翻

て登つていて。左脇へかけたた
グのつりかわを、奥深くかけた。

途中農家が二、三軒あって、家

には人気がなさそうだ。犬だけが
やたらとほえている。

停留所の標識があつて、「紫坑」

とあるのは、ほどなく轟かれて、
思ったが、帰り道で会つたおあ

ちゃんに聞いたら、「むざきこう」

だそうだ。ほほ、オッとなれた

と思ったが、石炭を振り出したと
は新道直行だという。成沢へは、
成沢入り口降りるといふといふ
ので、成沢入り口下車を予約し

た。

その他の同行だったお

車中は空席があちこちある。
途中何人が客が降りて乗つて、
車窓からほんと出でて来た。また、
松、杉、雜木と冬山だ。

「はい、成沢入り口です」と重

停留所からぼくらの後ろ

右手へ、舗装された道路が川を翻

て登つていて。左脇へかけたた
グのつりかわを、奥深くかけた。

途中農家が二、三軒あって、家

には人気がなさそうだ。犬だけが
やたらとほえている。

停留所の標識があつて、「紫坑」

とあるのは、ほどなく轟かれて、
思ったが、帰り道で会つたおあ

ちゃんに聞いたら、「むざきこう」

だそうだ。ほほ、オッとなれた

と思ったが、石炭を振り出したと
は新道直行だという。成沢へは、
成沢入り口降りるといふといふ
ので、成沢入り口下車を予約し

た。

その他の同行だったお

車中は空席があちこちある。
途中何人が客が降りて乗つて、
車窓からほんと出でて来た。また、
松、杉、雜木と冬山だ。

「はい、成沢入り口です」と重

停留所からぼくらの後ろ

右手へ、舗装された道路が川を翻

て登つていて。左脇へかけたた
グのつりかわを、奥深くかけた。

途中農家が二、三軒あって、家

には人気がなさそうだ。犬だけが
やたらとほえている。

停留所の標識があつて、「紫坑」

とあるのは、ほどなく轟かれて、
思ったが、帰り道で会つたおあ

ちゃんに聞いたら、「むざきこう」

だそうだ。ほほ、オッとなれた

と思ったが、石炭を振り出したと
は新道直行だという。成沢へは、
成沢入り口降りるといふといふ
ので、成沢入り口下車を予約し

た。

その他の同行だったお

車中は空席があちこちある。
途中何人が客が降りて乗つて、
車窓からほんと出でて来た。また、
松、杉、雜木と冬山だ。

「はい、成沢入り口です」と重

停留所からぼくらの後ろ

右手へ、舗装された道路が川を翻

て登つていて。左脇へかけたた
グのつりかわを、奥深くかけた。

途中農家が二、三軒あって、家

には人気がなさそうだ。犬だけが
やたらとほえている。

停留所の標識があつて、「紫坑」

とあるのは、ほどなく轟かれて、
思ったが、帰り道で会つたおあ

ちゃんに聞いたら、「むざきこう」

だそうだ。ほほ、オッとなれた

と思ったが、石炭を振り出したと
は新道直行だという。成沢へは、
成沢入り口降りるといふといふ
ので、成沢入り口下車を予約し

た。

その他の同行だったお

車中は空席があちこちある。
途中何人が客が降りて乗つて、
車窓からほんと出でて来た。また、
松、杉、雜木と冬山だ。

「はい、成沢入り口です」と重

停留所からぼくらの後ろ

右手へ、舗装された道路が川を翻

て登つていて。左脇へかけたた
グのつりかわを、奥深くかけた。

途中農家が二、三軒あって、家

には人気がなさそうだ。犬だけが
やたらとほえている。

停留所の標識があつて、「紫坑」

とあるのは、ほどなく轟かれて、
思ったが、帰り道で会つたおあ

ちゃんに聞いたら、「むざきこう」

だそうだ。ほほ、オッとなれた

と思ったが、石炭を振り出したと
は新道直行だという。成沢へは、
成沢入り口降りるといふといふ
ので、成沢入り口下車を予約し

た。

その他の同行だったお

車中は空席があちこちある。
途中何人が客が降りて乗つて、
車窓からほんと出でて来た。また、
松、杉、雜木と冬山だ。

「はい、成沢入り口です」と重

停留所からぼくらの後ろ

右手へ、舗装された道路が川を翻

て登つていて。左脇へかけたた
グのつりかわを、奥深くかけた。

途中農家が二、三軒あって、家

には人気がなさそうだ。犬だけが
やたらとほえている。

停留所の標識があつて、「紫坑」

とあるのは、ほどなく轟かれて、
思ったが、帰り道で会つたおあ

ちゃんに聞いたら、「むざきこう」

だそうだ。ほほ、オッとなれた

と思ったが、石炭を振り出したと
は新道直行だという。成沢へは、
成沢入り口降りるといふといふ
ので、成沢入り口下車を予約し

た。

その他の同行だったお

車中は空席があちこちある。
途中何人が客が降りて乗つて、
車窓からほんと出でて来た。また、
松、杉、雜木と冬山だ。

「はい、成沢入り口です」と重

停留所からぼくらの後ろ

右手へ、舗装された道路が川を翻

て登つていて。左脇へかけたた
グのつりかわを、奥深くかけた。

